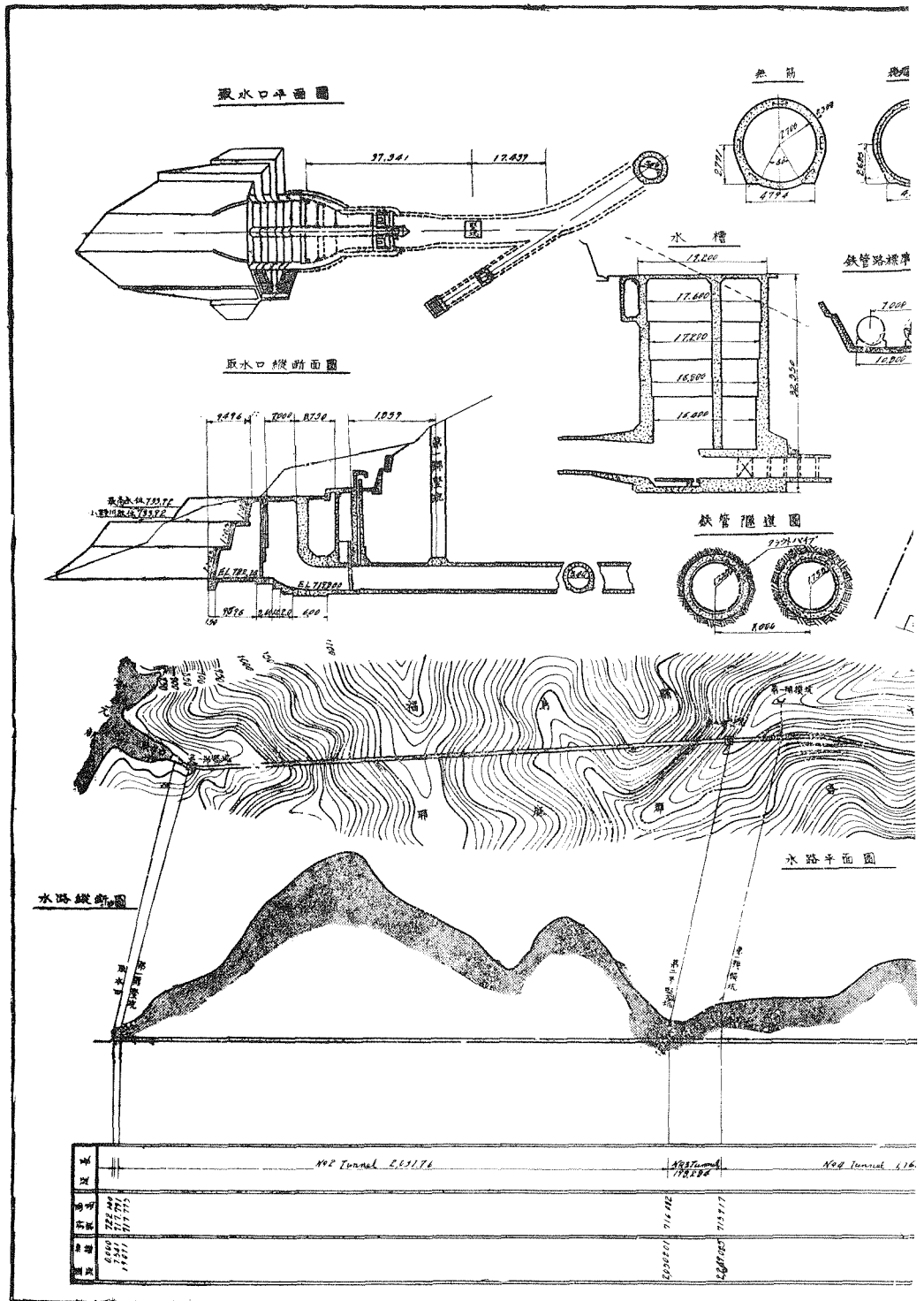
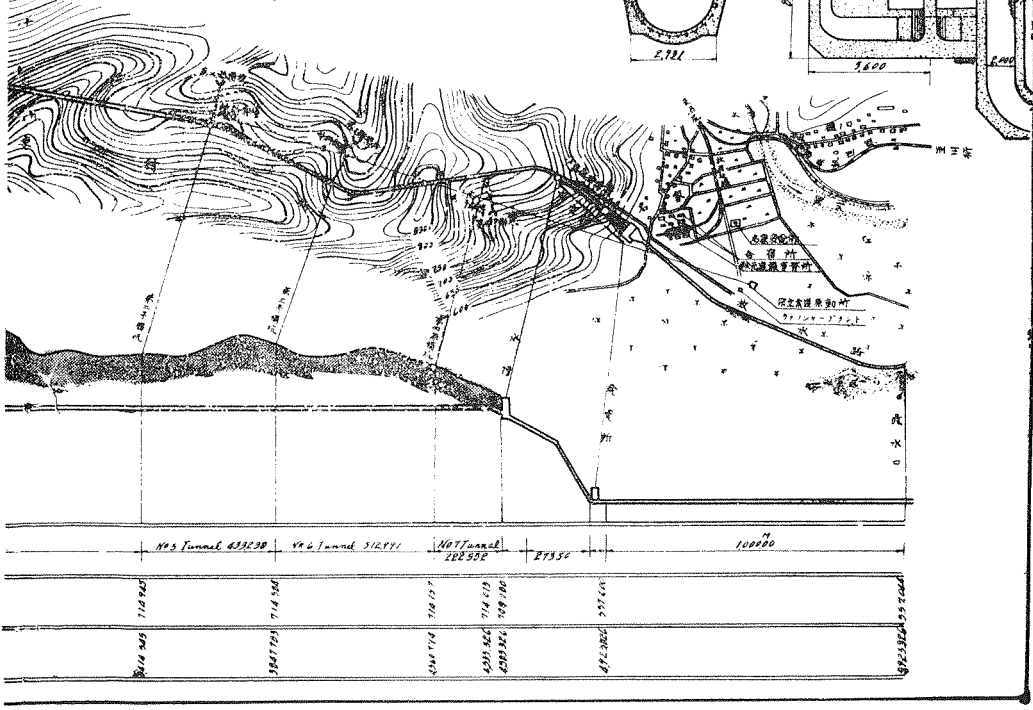
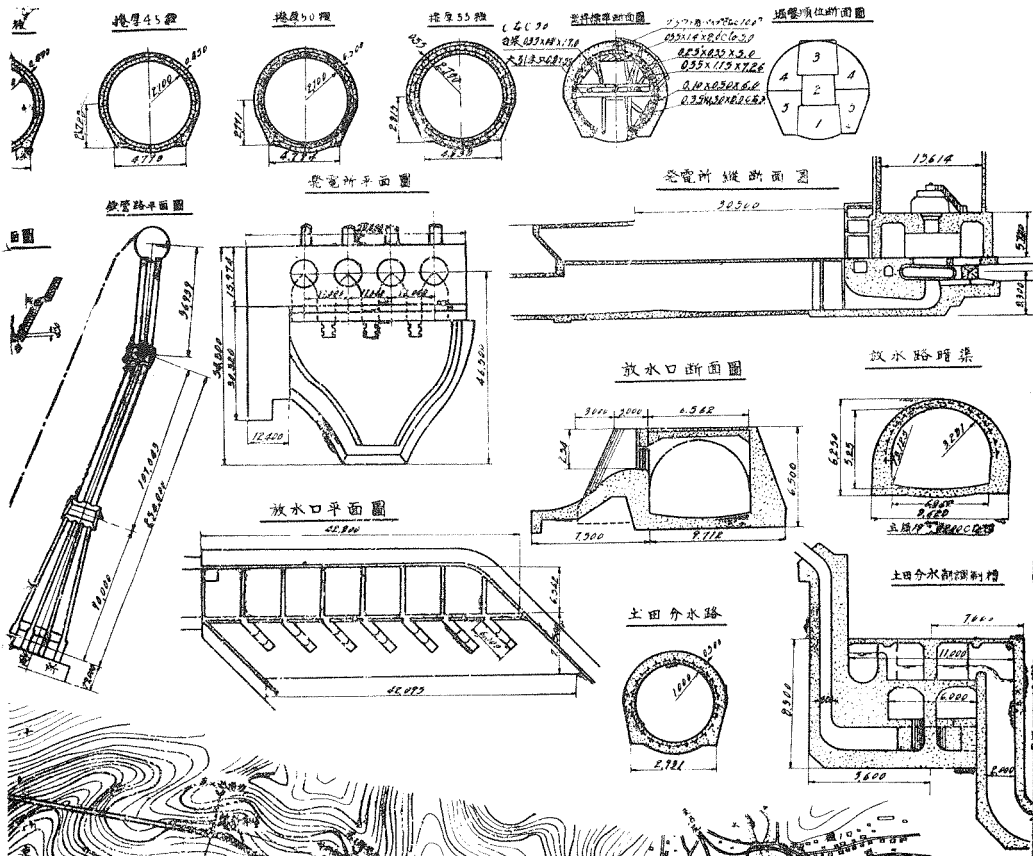


秋元發電所一般圖



水路標準断面圖



捲揚機電動式 1 臺
電動機 10 馬力 1 臺

仰拱 50 種 延長 967.3 米

5. 餘水路

豎 渠 鐵筋コンクリート造圓形内徑
2.7 米 卷厚 35 種 延長 34.36 米
暗渠及隧道 鐵筋コンクリート造馬蹄形
内法幅 2.7 米 高 2.7 米 捲厚 35
種 延長 470.21 米

6. 水壓管路(今回施工分は下記の半數とす)

水 壓 管 上部二條區間鑿道部電氣熔接管
其他銲接鋼管、下部四條區間電
氣熔接鋼管

二條區間 徑 3.50 米 乃至 3.226 米
鋼板厚自 12 耗至 26 耗
中心線延長 177.04 米

四條區間 徑自 2.15 米 至 1.7 米
鋼板厚自 18 耗至 28 耗
中心線延長 136.88 米
中心線延長 135.20 米

7. 放水路 總延長 1,038.08 米(放水池 より吐口に至る)

暗 渠 鐵筋コンクリート造馬蹄形内法
幅 6.562 米 高さ 5.35 米
卷厚頂 50 種側壁底部 113 種

B. 電氣設備 (第一期工事は下記の半數)

1. 主水車 4 臺

種 類 豎軸單輪單流フランシスタービ
ン

容 量 最大出力 29,000KW
定格出力 25,000KW

回轉數毎分 375 回轉

調速機及調壓機 自動油壓式

主水弁 ニードル型スルース弁

2. 主發電機 4 臺

種 類 豎軸三相交流同期發電機

容 量 28,000 キロヴォルトアンペア

力 率 86%

電 壓 11,000 ヴォルト

結 線 法 スター中性點抵抗接地

周 波 數 50 サイクル

蓄勢輪效果 (gD²) 350,000 延米²

3. 主勵磁機 4 臺

種 類 直結他勵磁界磁付整流極付

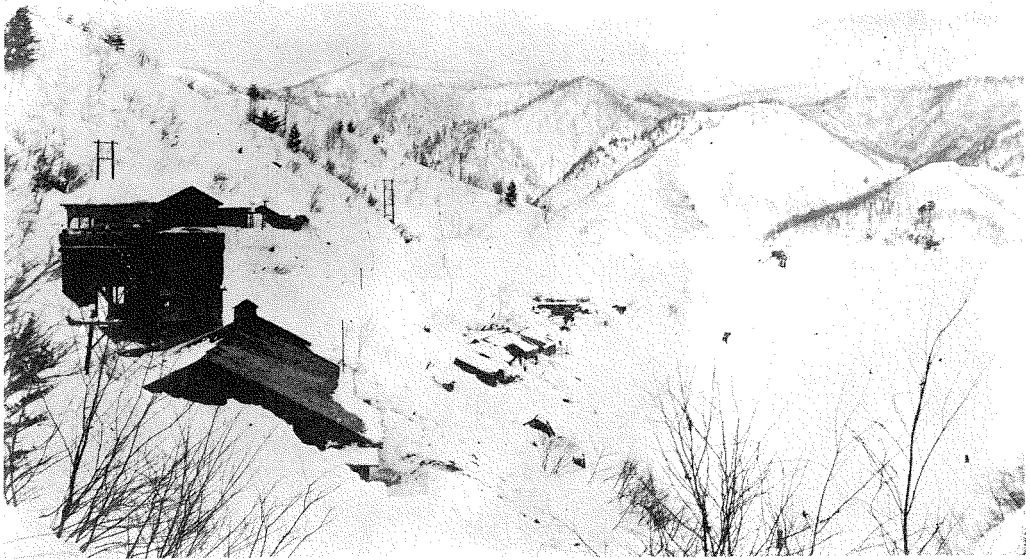
容 量 140 キロワット

電 壓 220 ヴォルト

4. 副勵磁機 4 臺

寫眞 3. 第 1 號 横 坑 口 (12.10.31)





寫眞4. 第 1 號 豎 坑(13. 2. 26)

種 類 直結自己勵磁分捲界磁整流
 容 量 7 キロワット
 電 壓 110 ヴォルト

5. 遞昇用變壓器 4 臺

種 類 三相屋外用油入送風式内鐵型
 容 量 一次二次共各28,000 キロヴォルト
 トアンペア
 一次電壓 10,500 ヴォルト
 二次電壓 16,100—15,400—14,700 ヴォルト
 周波數 50 サイクル
 結線法 一次三角、二次星形 中性點計
 器用變壓器接地

6. 配電盤並制御裝置

一人制御自動操作式

7. 發電所建物

(イ) 基礎 鐵筋コンクリート造第二期分
 共
 機械室 幅58.4米 長15.974米
 高(水車中心)1.4米
 電氣室 幅12米 長30.32米 高773米
 (ロ) 建物 建坪957.17平方米 延坪1,74

3.174平方米

機械室 幅33.903米 長15.164米
 軒高20.46米

建坪514.05平方米 延坪514.05
 平方米 鐵骨コンクリート造
 但第一期工事のみを計上

電氣室 幅11.80米 長30.625米
 軒高11.85米 建坪326.015平方
 米 延坪1,229.069平方米 鐵
 筋コンクリート造

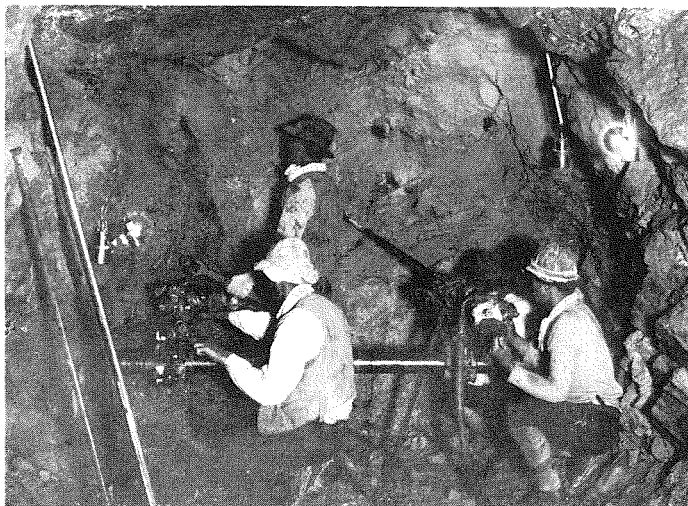
工 事 擔 當 者

秋元建設事務所長	勝目 清二
土木係長	熊川 信之
電氣係長	松木 正敏
第一工區主任	笹森 光輝
第二工區主任	武藤西之助
第三工區主任	山口 直樹

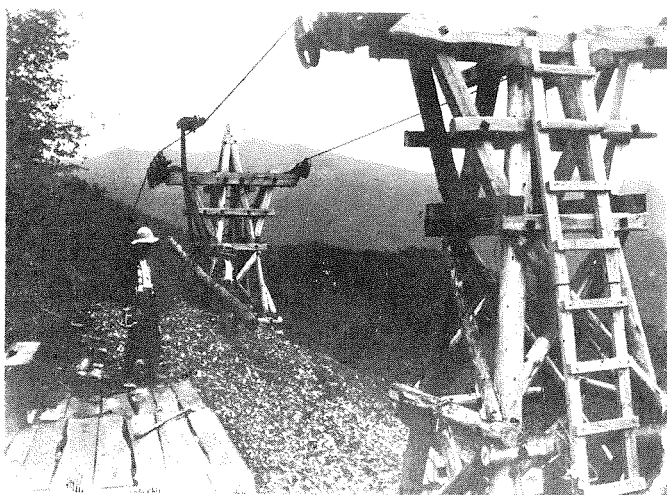
工 事 期 間

着手期日 昭和13年6月10日
 第一期工事竣工豫定日 昭和15年11月

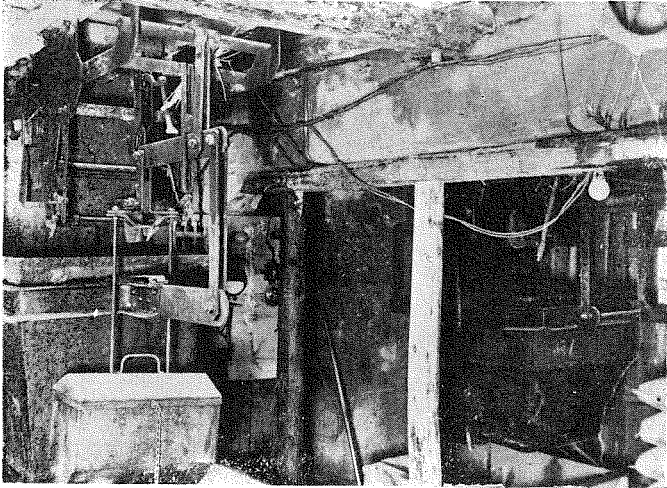
寫眞5. 鑿岩機による導坑掘
鑿(13. 6. 12)



寫眞6. 第2號隧道下口導坑
(13. 7. 21)

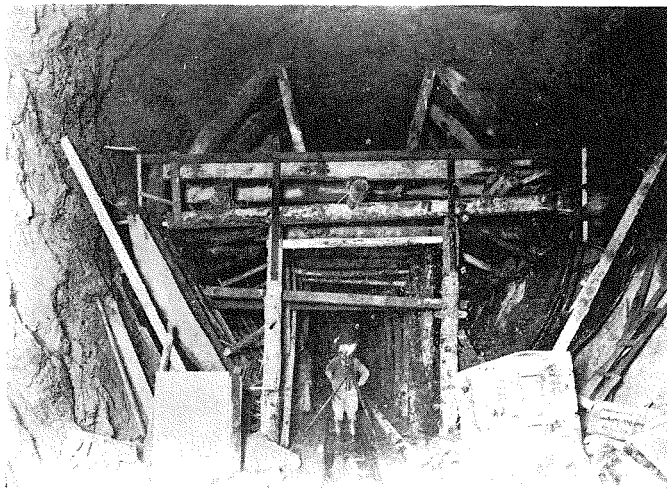
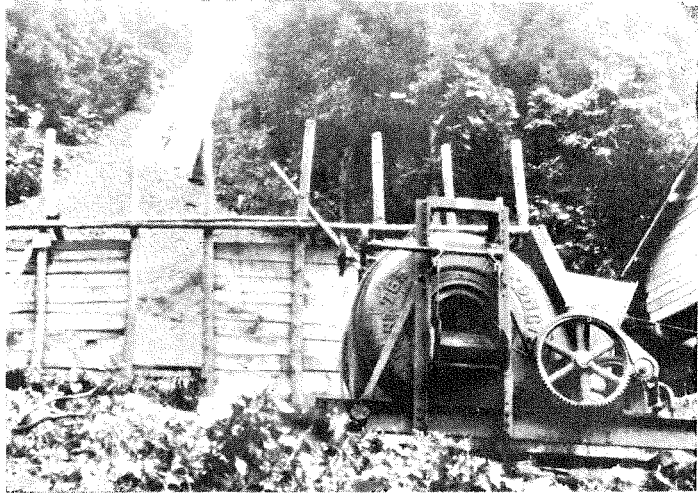


寫眞7. 第3號橫坑索道荷卸
場(13. 8. 26)



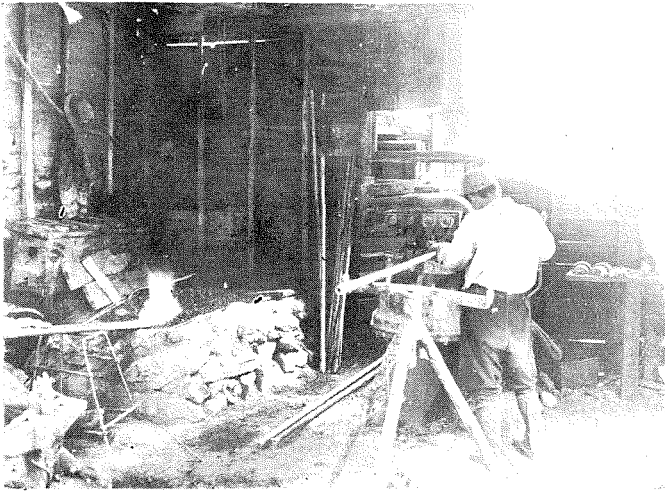
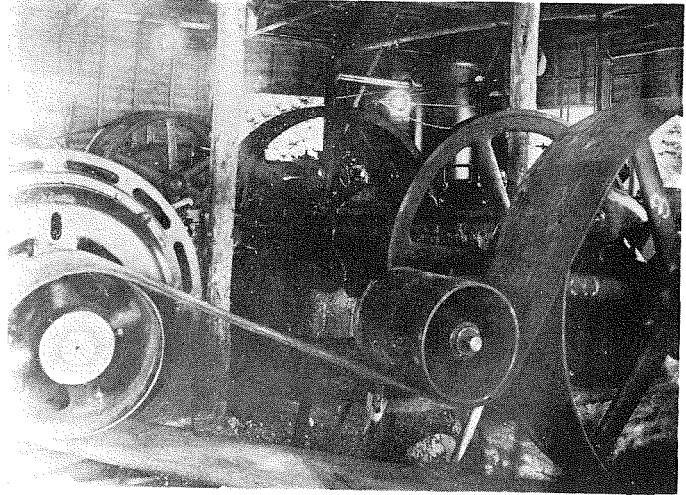
寫眞8. 取水口附近コンクリート混合機並自動計量器(13. 12. 21)

寫眞9. 第3號横坑コンクリートミキサー(13. 8. 26)

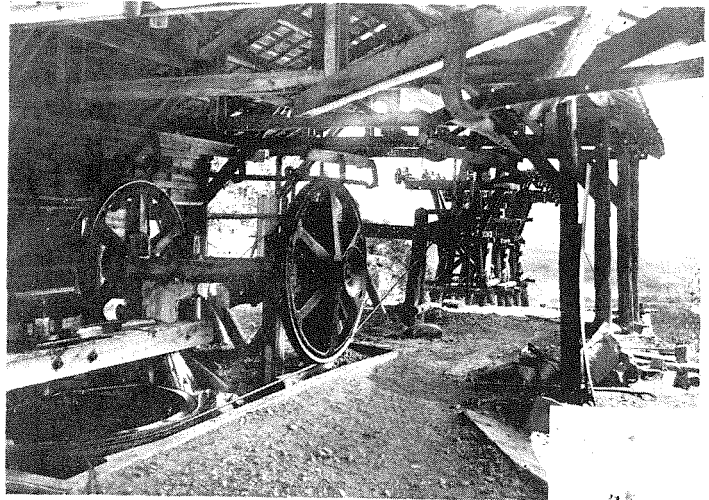


寫眞10. 第2號隧道側壁型枠(13. 12. 25)

寫眞11. 第2號隧道下口より
第4號隧道上口に至る間の
原動機所(13. 7. 31)



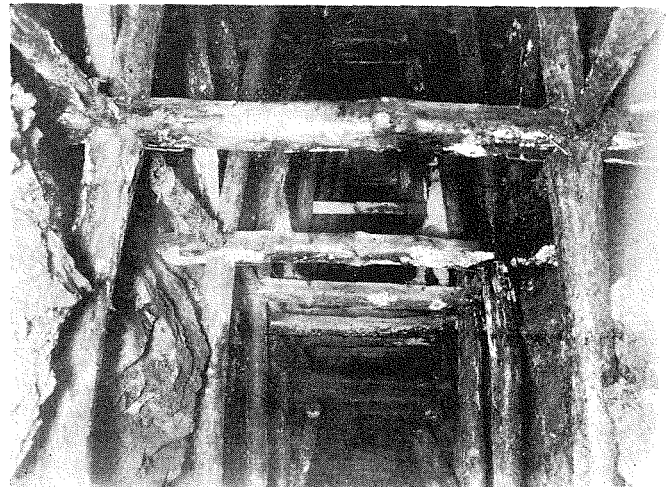
寫眞12. 第2號豎坑鑿(錐鋼)
加工場(14. 4. 26)



寫眞13. 第4號橫坑索道原動
所(14. 6. 27)



寫眞14. 第4號隧道切擴並に
支保工(13. 7. 26)

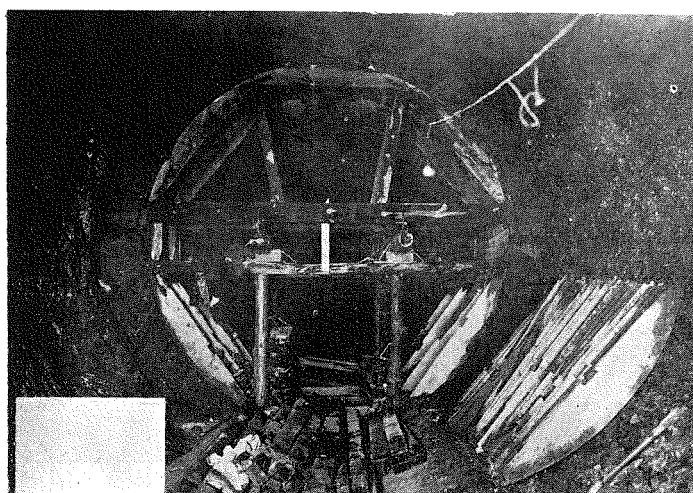


寫眞15. 第5號隧道丸型支保
工(13. 8. 26)



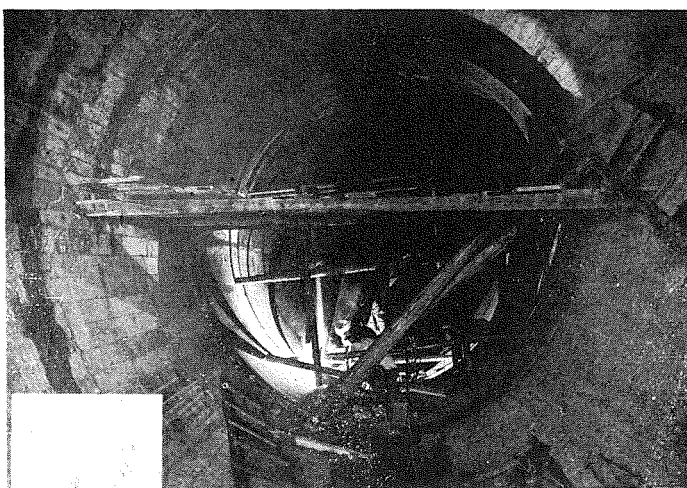
寫眞16. 第5號隧道貫通
(13. 12. 22)

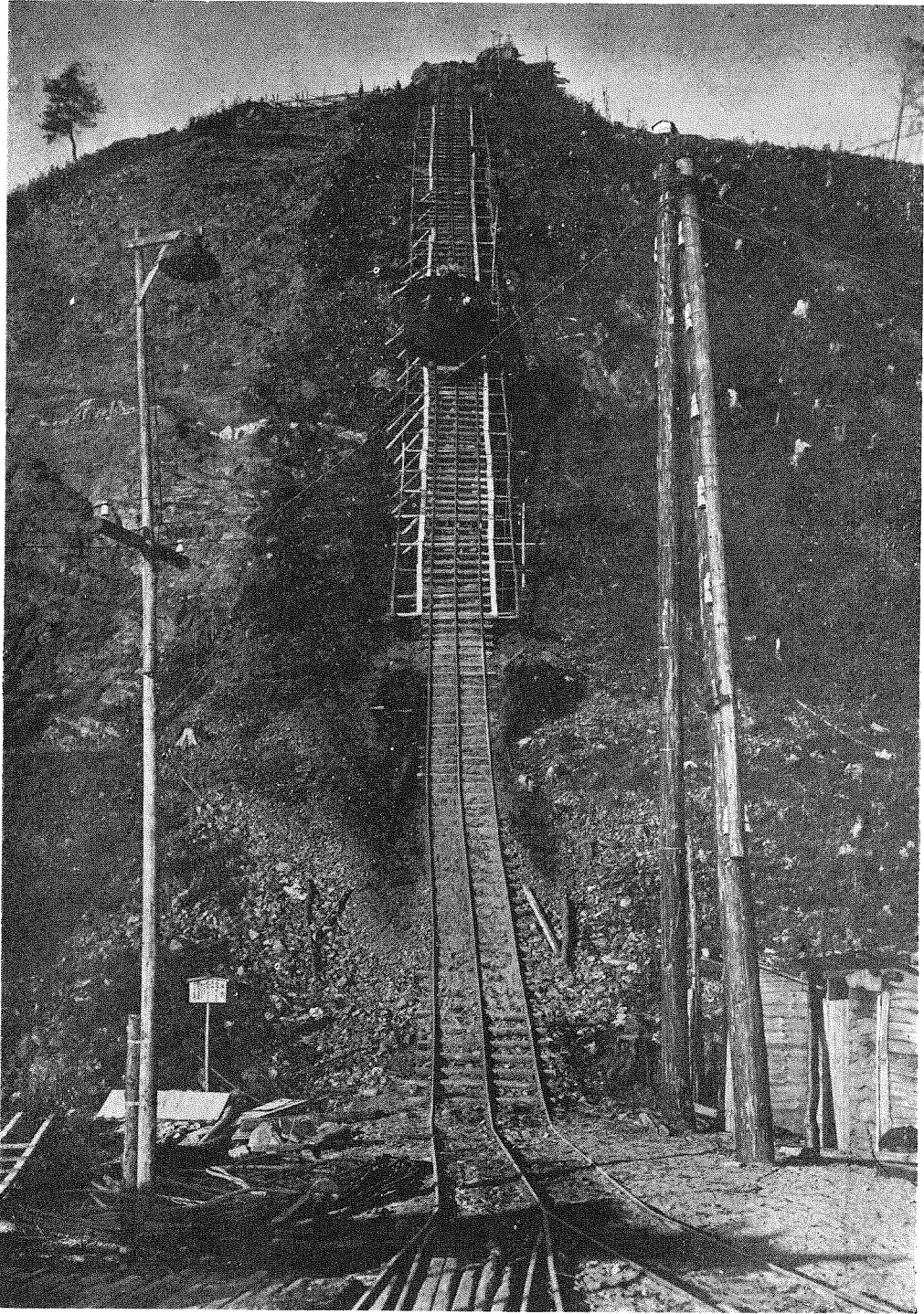
寫眞17. 鐵管隧道坑口 (13.
6. 6)



寫眞18. 第1.2號鐵管隧道
コンクリート捲立 (14.
10. 31)

寫眞19 . 第3.4號鐵管隧道内
熔接管、熔接作業狀況
(14. 10. 31)





寫真20. 隧道用熔接鐵管捲揚狀況(14. 11. 15)